



User Profile

リコー

■ 設立年月

1936年2月6日

■ 本社所在地

東京都中央区銀座8-13-1

■ 事業概要

デジタル複写機、MFP、プリンター等機器および関連消耗品・サービス提供を行う画像ソリューション分野を中心に、その他、ネットワークシステムや産業機器、デジタルカメラ等を展開

■ 導入システムの概要

サーバーとストレージ、ネットワーク機器間の接続を仮想化するI/O仮想化コントローラ「Xsigo VP780」を導入

■ 導入の目的

各事業部およびグループ企業が活用するクラウド基盤の構築に当たり、運用管理を簡素化するとともに、拡張を容易にする

リコー

再起動なしでネットワークを変更 柔軟性高いクラウド基盤が実現

リコーが、グローバルにSaaSを提供するための新たなクラウド基盤を構築した。サーバーとネットワークとの接続を仮想化するシーゴシステムズの製品が運用管理の容易性、拡張性の向上に貢献している。 文◎坪田弘樹(本誌)

デジタル複合機(MFP)／プリンタ大手のリコーは、ハードウェア製品を販売する従来型事業に加えて、クラウドサービスの提供を核とした新ビジネスを拡大しようとしている。その取り組みが本格化したのが2011年4月。IT/S本部にソリューション事業支援室が立ち上げられ、リコーの各事業部やグループ企業がクラウドビジネスを展開するための基盤となる「リコーグループ共通ITインフラ」の構築がスタートした。

クラウドサービスを開発、提供するためのIaaS、PaaSに相当する部

分をグループ共通インフラとして新たに構築し、これを各事業部やグループ企業が活用して、SaaS等をエンドユーザーに提供する。

リコーは以前にも、各事業部が独自にサービスを提供しており、複数のサービス提供基盤がサイロ型で存在していた。そうした形態から脱し、リコーグループ全体が利用し、かつグローバル展開が可能な共通クラウド基盤を実現するのが今回の目的だ。

そこで求められた要件は、大きく2つあるという。「スピードと柔軟性。グ



リコー

品川システムセンター
IT/S本部
ITインフラ統合センター
ソリューション事業
支援室
和久利智丈氏

ローバル展開を前提として、短期にビジネスを立ち上げる。加えて、基盤作りと実際のビジネスを並行して走らせていくためには、柔軟性も欠かせなかった」と、ソリューション事業支援室の和久利智丈氏は話す。

内製とNW仮想化が鍵に

リコーでは、グローバルマーケティング本部や新規事業開発センターが中心となり、次々と新たなソリューションビジネスの立ち上げが進められている。キャパシティプランニングをはじめ、クラウド基盤に求められる要件は常に変化していく。基盤の構築が完了するまでビジネス展開を